

AO入試（前期型）（後期型）【専願】

1 学部・学科別募集人数

学部・学科		募集人数	
		前期型	後期型
商学部	マーケティング学科	15名	若干名
	経営学科	20名	
経済学部	経済学科	14名	
	経済情報学科	4名	
人間社会学部	人間社会学科	10名	
	観光学科	7名	
	人間健康学科	13名	

2 出願資格

- ①日本の高等学校もしくは中等教育学校および外国の高等学校を卒業した者、または2020年3月31日までに卒業見込みの者（学校教育法第90条、同施行規則第150条の規定により認められる者を含む）。
- ②流通科学大学で勉学することを強く希望し、本学のアドミッション・ポリシーに該当する者。

AO(アドミッション・オフィス)入試について

AO入試とは、学力試験や偏差値では測れない秘めたる能力や、本学のことをよく理解し将来への明確な意欲を持った学生を発掘するための選抜方式です。

AO入試は専願制です。

アドミッション・ポリシーについては4ページを参照してください。

3 入試日程

	出願期間	試験日・試験地	合格発表日	入学手続締切日
前期型	9月2日(月) ┆ 9月24日(火)	10月5日(土) 神戸(本学)	10月15日(火)	[一次手続] 11月8日(金) [二次手続] 2020年1月17日(金)
後期型	2020年2月7日(金) ┆ 3月2日(月)	2020年 3月8日(日) 神戸(本学)	2020年 3月13日(金)	[一括] 2020年 3月23日(月)

4 出願書類

- ①志望理由書・課題レポート[本学所定用紙]
本学入試情報サイトまたはインターネット出願画面からダウンロードしてください。
 - 本人が自筆で作成してください。
 - 志望理由書・課題レポートの記入について参照。
 - 写真は出願前3ヶ月以内に撮影(正面・上半身・脱帽・無背景)したものを貼付してください。写真の裏面に、氏名(フリガナ)を必ず記入して貼付してください。
サイズ縦4cm×横3cm (必ずカラーの証明写真)
- ②調査書
 - 文部科学省所定の様式により学校長が作成し、厳封したもの。開封無効
- ③写真2枚(サイズ縦4cm×横3cm、カラーの証明写真) ※1枚は①に貼り付けてください。

5 入学者選抜の方法

試験科目	選考方法	配点	時間
志望理由書・課題レポート	指定の志望理由書・課題レポートを作成して提出	200点満点	—
面接	志望理由書・課題レポートおよび調査書に基づき個人面接を実施	200点満点	20分 (受験者1名・面接官2名)

6 試験日の時間割

入室開始時間	集合時間	面接時間
9:00	9:45	10:00～13:30(予定) ※面接終了時間は受験生によって異なります。

- ①試験当日は、上記の集合時間までに指定された試験室(当日掲示)に入室してください。
- ②集合時間から30分を経過すると教室内への入室はいかなる場合も許可しません。
- ③面接スケジュールは試験当日お知らせしますので確認してください。

7 志望理由書・課題レポートの記入について

①記入する内容について

本学のAO入試の選考においては、入学後の学習計画や活動計画、および将来の具体的な目標、意欲や実現の可能性等を評価します。

これまでの実績を活かしながら、大学入学後の能力の伸ばし方や大学卒業後の活動計画などの具体的な実行プランを記入してください。

したがってビジネスのビジョンの種類・事業内容、スポーツや文化活動の種目・種類などによっての有利不利はありません。

②志望理由書記入方法について

- ・各設問に本人が自筆で、丁寧に記入してください。
- ・志望タイプについて
あなたが今後チャレンジしたいことに○をつけてください。

〈ご参考〉

志望タイプ	志望理由例
(1) 事業承継タイプ	将来、家業を継いで経営し、さらに発展させたい！
(2) 起業タイプ	将来、会社を立ち上げたい！
(3) 課外活動タイプ	入学後、本学のクラブに所属し、チームのために何が できるかを考え行動したい！
(4) 資格チャレンジタイプ	在学中に、日商簿記2級を取得し、将来は税理士になるため簿記講座 を受講したい！
(5) 社会活動ボランティアタイプ	ボランティア活動を通じて、地域の活性化に携わりたい！
(6) 公務員チャレンジタイプ	在学中に、公務員試験対策講座を受講し、将来は消防官になりたい！

- ・高校生活での取り組みや経験について、その実績や活動内容が証明できる資料があれば添付してください。
A4サイズに統一し、のりづけ・ホッチキス留めはしないでください。

③課題レポート記入方法について

- ・氏名、フリガナ、性別、高校名を記入してください。
- ・志望学部・学科を記入してください。
- ・共通課題「マーケティング」または、志望学科の課題テーマを下記より確認し、テーマについて自分の回答を600字以内で記入してください。

志望学部・学科	課題 テーマ番号	課題テーマ
共通課題 「マーケティング」	①	企業の規模や仕事の種類が異なっても、世の中の多くの企業がマーケティングの重要性を認識しています。なぜでしょうか。それはどの企業にも「お客様がいる」という共通点があるからです。そこで、あなたが関心のある企業の事例をもとに、企業がお客様に喜んでいただけるようにどのような活動を行っているか、説明してください。
商学部	マーケティング学科	② 今日のマーケティングでは、ブランド・マネジメントの重要性を認識することは常識になりました。以下の設問に答えてください。 ブランドとは何かあなたなりに定義したうえで、あなたの関心の高いブランドを1つ例にとって、どのようにすればブランドを成功させることができるかあなたの考えを述べてください。
	経営学科	③ 東大阪市のコンビニ(正式名称コンビニエンスストア)店主が、人手不足を理由に営業時間を短縮しました。これを受けコンビニ本部は契約解除と違約金の支払いを店主に請求したことから、コンビニの24時間営業は一気に社会問題化しました。コンビニ本部が24時間営業にこだわる理由を説明した上で、24時間営業を続けるべきか、やめて短縮するべきかあなたの考えを述べてください。
経済学部	経済学科	④ 最近、社会では様々な経済問題が話題になっています。その中で、あなたが特に関心を持っている経済問題を1つ選び、それについて説明してください。また、その問題に関心を持っている理由と、その問題に対するあなたの考えを述べてください。
	経済情報学科	⑤ 最近、多くの人々がインターネット上の商品やサービスに関する個人の書き込み(口コミ)を活用しています。この「口コミ」は、消費者の購買行動に大きな影響を与えていると言われ、企業等のサービス提供者側も「口コミ」の効果的な活用を目指しています。「口コミ」が経済に与える影響について、具体的な例をあげてあなたの考えを述べてください。
人間社会学部	人間社会学科	⑥ 人口減少、IT化、食品ロス、その他、社会で、あるいはあなたの身近で起こっている社会の問題の中から、あなたが特に関心を持っているものを1つ選び、その問題について説明してください。また、その問題に関心を持っている理由と、その問題に対するあなたの意見を述べてください。
	観光学科	⑦ 「観光」は、旅行・宿泊・輸送・飲食・土産物業など広範囲に経済効果をもたらすことから、21世紀のリーディング産業(基幹産業)と目されています。また、経済効果に留まらず、地域における社会的・文化的効果といった観点から見ても、「観光」を通して人々の交流を促進することは良い効果を生み出すと言われています。その一方、「観光」を取り巻くさまざまな環境の変化から、観光産業や観光客を受け入れる地域が向き合わなければならない諸々の課題について指摘されていることも事実です。 そこで、『10年後の観光・観光産業はどのようなようになる』と予想するのか、指摘されている課題を確認したうえで、あなたの考えや意見を述べてください。
	人間健康学科	⑧ Aさんは65歳で定年退職を迎えます。これまで無趣味でした。70歳まで、これまでやったことのないスポーツをしてみようと考えています。Aさんのような人にどのようなスポーツが適切でしょうか。65歳から70歳の体力を考慮しながら具体的にあなたの意見を述べてください。

8 奨学金等について

新生活のスタートを支援「下宿サポート奨学金」

入学後、下宿予定の方に、下宿サポート奨学金として20万円を入学後に給付します。

下宿サポート奨学金の申請方法については、入学後のガイダンスでご案内します。

※賃貸借契約書の契約日は、3月末日までとし、大学への申請は4月1日～末日までに行うこととします。

※国際交流施設学生寮に入居する方、親族宅に下宿する方は対象外です。

※外国人留学生対象の入試は除く。

■ アドミッション・ポリシー

流通科学大学 入学者受入方針

高校時代の成果・経験、例えば「課外活動」「特技」「社会的活動や貢献」「資格取得」「プレゼンテーション力」などを活用して、大学入学後もさらにその分野を極め活躍しようと思う者、また、将来、家業の事業を継承しさらに発展を目指そうとする者や起業を目指す者など、さまざまな切り口で適性を持つ前向きな人材を、多様な入試制度で受け入れる。

高校段階の学業面で身につけておくべきことは、国語分野では幅広い話題についての文章の読解力・作成能力、英語分野では基本的な文章の読解力と、基本的な情報・考えを英語で伝える力、数学分野では基礎的な計算力や根底となる公式による論理的展開能力、社会科分野では学習した科目の基本事項の理解とその学習から得られる思考力と判断力である。

大学全体の受入方針に加え、学部毎には次の分野に興味を持っている人材を求める。

商 学 部	マーケティング学科	「ブランド戦略」分野 「流通ビジネス」分野
	経営学科	「経営戦略」分野 「ビジネスリーダー」分野 「グローバル経営」分野 「会計」分野
経 済 学 部	経済学科	「現代経済」分野 「地域まちづくり」分野
	経済情報学科	「経済情報」分野 「情報システム」分野
人 間 社 会 学 部	人間社会学科	「社会文化」分野 「心理」分野
	観光学科	「観光事業」分野 「ホテル・ブライダル」分野
	人間健康学科	「スポーツ健康」分野 「スポーツマネジメント」分野